

## 講 評



審査委員長

**北野 大**

(明治大学理工学部教授)

今、地球温暖化に関する関心が高まり、地球や私たちの生活のために「省エネ」を具体的に実践していく必要性が大きくなっています。

そして、その「省エネ」は、日常の生活のちょっとした工夫やアイデアで実践していくことが出来ます。「みんなで楽しく工夫して、地球にも生活にもやさしい省エネをしましょう!」ということで、この省エネコンテストが企画されました。

この省エネコンテストを通して一人でも多くの人々に、理解と関心を持って省エネを実践していただきたいと考え、審査をいたしました。

多くの家庭や学校から実践の報告がよせられ、皆、真剣にそして、それなりのやり方で取り組んでいる様子がよくわかりました。

家庭での省エネは、家族の協力があること、そして無理なく続けられることが大事と思われま

す。各賞に輝いた事例は、家庭での省エネ実践リーダーは、祖父、祖母、父親、母親、子供とそれぞれですが、いずれも皆家族の強い協力のもと、無理なく楽しく実践した事例が選ばれています。

また学校では、生徒が自ら考え、主体的に工夫のある行動を展開し、さらに学校だけでなく家庭でも省エネ実践行動を行っている事例が評価されています。

ここに紹介されなかった事例も含めて、省エネ実践というのはいろいろなやり方があり、ちょっとした工夫で無理なく出来ることが多くあるという事が、よくわかりました。

いろいろな省エネ実践事例を楽しく拝見させていただき、このような省エネ実践行動が多くの家庭、学校そして社会に広がっていく事を強く願っています。

またいろいろな楽しい省エネ実践事例にふれたいと思っています。

### 省エネコンテスト審査委員会委員

委員長	<b>北野 大</b>	明治大学理工学部教授
	<b>小峯 裕己</b>	千葉工業大学工学部教授
	<b>宗次郎</b>	オカリナ奏者
	<b>根本 美緒</b>	フリーキャスター、クールアンバサダーメンバー
	<b>三村 光代</b>	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 監事
	<b>桂 靖雄</b>	省エネ家電普及促進フォーラム幹事会議長、松下電器産業(株)常務取締役
	<b>染野 憲治</b>	環境省地球環境局地球温暖化対策課 国民生活対策室長
	<b>河本 光明</b>	経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 政策課長

(敬称略)